

会 告

一般社団法人電子情報通信学会平成 28 年定時社員総会報告

平成 28 年 6 月 2 日午後 2 時から、機械振興会館地下 2 階ホールにおいて、一般社団法人電子情報通信学会平成 28 年定時社員総会を開催した。

代議員総数 107 名に対し、出席代議員数 92 名（出席者 39 名、委任状 53 通）で、議決が可能な代議員総数の過半数の出席議決権数に達した。

これにより、会長（理事）小柴正則が議長となって、下記の議案について報告及び審議を行い、審議議案については原案どおり満場一致で可決承認された。

記

第 1 号議案 平成 27 年度事業報告（714 ページ参照）

第 2 号議案 平成 27 年度決算（審議事項）及び監査報告（749 ページ参照）

決算書は、原案どおり満場一致で承認された。また、事業報告及び計算書類並びにこれらの附属明細書は、本会の状況を正しく示しているものと認める旨の監査報告があった。

第 3 号議案 公益目的支出計画実施報告及び監査報告

標記について報告があった。また、公益目的支出計画実施報告書は、本会の状況を正しく示しているものと認める旨の監査報告があった。

第 4 号議案 平成 28 年度事業計画（759 ページ参照）

第 5 号議案 平成 28 年度収支予算（773 ページ参照）

第 6 号議案 定款変更（審議事項）

定款変更を審議し、満場一致の賛成により、定款第 19 条に定める議決権総数の 3 分の 2 を超える賛成が得られたため、原案どおり承認された。

第 7 号議案 新理事・監事の選任について（審議事項）

定款 26 条に基づき、以下の理事及び監事が、本総会をもって任期を満了した。

理事 小柴正則、理事 笹瀬 巖、理事 石田 亨、理事 茨木 久、
理事 西原基夫、理事 三瓶政一、理事 保田佳之、理事 川村龍太郎、
理事 津田俊隆、理事 浅谷耕一、理事 宮永喜一、理事 梅比良正弘、
理事 橋本 修、理事 美濃導彦、監事 鈴木 博

定款第 14 条及び第 19 条に基づき、以下の理事及び監事をそれぞれ満場一致で選任した。

理事 篠原弘道、理事 森川博之、理事 安浦寛人、理事 辻 ゆかり、
理事 喜多泰代、理事 高田潤一、理事 杉山一雄、理事 石川悦子、
理事 津田俊隆、理事 江村克己、理事 浅谷耕一、理事 今井 浩、
理事 守倉正博、理事 植之原裕行、理事 中村裕一、監事 山本博資

以上をもって議事を終了し、午後 2 時 38 分閉会した。

平成 28 年 6 月 2 日

一般社団法人 電子情報通信学会

議長（理事）小柴正則、書記（理事）茨木 久、書記（理事）西原基夫

定時社員総会後に行われた式典第一部に於いて、名誉員の推薦（593 ページ参照）、第 77 回功績賞授与（600 ページ参照）、第 53 回業績賞授与（605 ページ参照）、第 72 回論文賞授与（615 ページ参照）、第 9 回喜安善市賞授与（614 ページ参照）、第 2 回末松安晴賞授与（622 ページ参照）、及び広告賞授与が行われた。また、式典第二部に於いて、小柴正則前会長から退任役員を代表して挨拶があり、これに対して大石進一副会長から会員を代表して謝辞が述べられた。その後、平成 28 年度第 1 回理事会で会長に選任された佐藤健一新会長から会長就任の挨拶があった。（会長就任挨拶 630 ページ参照）

—熊本地震で被災された会員の皆様へ—

平成 28 年 5 月 19 日
一般社団法人電子情報通信学会
会長 小柴正則

このたびは甚大な災害を被られ、誠にお気の毒に存じます。心からお見舞いを申し上げるとともに一日も早い復興をお祈りいたします。

当学会は、今回の非常の事態に対して、以下の要領で会費の減免をすることに致しました。

このたびの熊本地震で災害に遭われた会員各位の平成 28 年度（平成 28 年度分既納の場合は平成 29 年度分）の会費を、お申し出により免除することに致します。

つきましては、ご面倒でも、会員番号、氏名、連絡先、住所等を別紙申請書に記載の上、学会事務局会員課までご連絡下さい。その際、被災を証明する書類（地方自治体発行の罹災証明書の写し）をあわせてお送り下さい。

また、周囲に被災された会員の方がいらっしゃいましたら、この旨をお伝え頂きますようお願い致します。

申請書については、下記 URL へアクセス願います。

<http://www.ieice.org/jpn/service/hisaishinsei.html>

以上

電子情報通信学会各研究会開催案内

第一種研究会 平成 28 年 7 月 1 日～7 月 30 日

開催プログラムは変更になることがあります。
最新情報は学会ホームページのイベント日程等で御確認下さい。
<http://www.ieice.org/event/workshops.php>

◎基礎・境界ソサイエティ/NOLTA ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場
情報理論 (IT)	28日(木) 29日(金)	10:50~16:40 10:15~14:50	福岡大学・セミナーハウス
信頼性 (R)	29日(金)	13:30~16:10	小樽経済センター
超音波 (US)	29日(金)	13:30~17:00	九州大学・筑紫キャンパス・産学連携センター
応用音響 (EA)	7日(木) 8日(金)	12:30~16:45 10:10~15:35	ヤマハ・豊岡工場
非線形問題 (NLP)	21日(木) 22日(金)	13:30~17:20 9:30~12:10	北海道大学・百年記念会館
情報セキュリティ (ISEC) 技術と社会・倫理 (SITE) 情報通信システムセキュリティ (ICSS) マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント (EMM)	14日(木) 15日(金)	13:00~17:30 9:30~16:10	中市コミュニティーホール Nac
ワイドバンドシステム (WBS) ヘルスケア・医療情報通信技術 (MICT)	20日(水) 21日(木)	12:30~17:00 9:30~12:15	東京工業大学・大岡山キャンパス
思考と言語 (TL)	23日(土) 24日(日)	10:50~18:30 10:00~16:00	早稲田大学・西早稲田キャンパス
イメージ・メディア・クオリティ (IMQ) ヒューマン情報処理 (HIP)	29日(金)	10:00~16:35	札幌市立大学・芸術の森キャンパス
高信頼制御通信 (RCC) ネットワークシステム (NS) 無線通信システム (RCS) スマート無線 (SR) 知的環境とセンサネットワーク (ASN)	20日(水) 21日(木) 22日(金)	13:35~17:05 9:00~17:55 9:00~15:50	名古屋工業大学・御器所キャンパス
7 月休会の研究会；回路とシステム (CAS), VLSI 設計技術 (VLD), 信号処理 (SIP), システム数理と応用 (MSS), 安全性 (SSS), ITS (ITS), スマートインフォメディアシステム (SIS), バイオメトリクス (BioX), 複雑コミュニケーションサイエンス (CCS), 安全・安心な生活と ICT (ICTSSL)			

◎通信ソサイエティ

(通信ソサイエティでは、技術研究報告の完全電子化に向けた取組みのため、一部の研究会で参加費をお支払頂くことになりました。詳しくはトライアルのページ http://www.ieice.org/cs/jpn/kensen/special/trial2015/trial2015_index.html を御参照下さい。)

研究会名	日 時		会 場
アンテナ・伝播 (A・P) 宇宙・航行エレクトロニクス (SANE) 衛星通信 (SAT)	20日(水) 21日(木) 22日(金)	13:55~17:10 9:30~17:40 9:30~17:40	小樽マリーナ
環境電磁工学 (EMCJ) 機構デバイス (EMD)	15日(金)	14:00~16:55	機械振興会館
ネットワークシステム (NS) 無線通信システム (RCS) スマート無線 (SR) 知的環境とセンサネットワーク (ASN) 高信頼制御通信 (RCC)	20日(水) 21日(木) 22日(金)	13:35~17:05 9:00~17:55 9:00~15:50	名古屋工業大学・御器所キャンパス
情報ネットワーク (IN)	15日(金) 16日(土)	9:30~21:30 9:00~12:25	松前町町民総合センター
通信方式 (CS)	7日(木) 8日(金)	9:30~17:25 9:00~12:05	宮古島・平良港ターミナルビル

電子通信エネルギー技術 (EE)	14日(木) 15日(金)	9:30~16:45 9:30~16:15	機械振興会館
光通信システム (OCS)	28日(木) 29日(金)	9:25~11:45 9:30~10:30	東京工業大学・大岡山キャンパス・蔵前会館
コミュニケーションクオリティ (CQ)	26日(火) 27日(水)	13:00~17:40 10:50~16:45	関西学院大学・大阪梅田キャンパス
情報通信マネジメント (ICM)	7日(木) 8日(金)	13:10~17:00 9:15~12:00	小樽市観光物産プラザ
ヘルスケア・医療情報通信技術 (MICT) ワイドバンドシステム (WBS)	20日(水) 21日(木)	12:30~17:00 9:30~12:15	東京工業大学・大岡山キャンパス
7月休会の研究会；フォトリックネットワーク (PN), 光ファイバ応用技術 (OFT), モバイルネットワークとアプリケーション (MoNA), インターネットアーキテクチャ (IA), 短距離無線通信 (SRW), 無線電力伝送 (WPT)			

◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	日時		会場
機構デバイス (EMD) 環境電磁工学 (EMCJ)	15日(金)	14:00~16:55	機械振興会館
磁気記録・情報ストレージ (MR)	8日(金)	13:00~17:00	中央大学・理工学部・後楽園キャンパス
電子ディスプレイ (EID)	26日(火)	10:00~16:50	機械振興会館
電子デバイス (ED)	23日(土) 24日(日)	13:30~16:15 9:30~11:50	首都大学東京・南大沢キャンパス・国際交流会館
電子部品・材料 (CPM)	22日(金) 23日(土)	15:00~16:55 10:00~11:55	愛媛大学・工学部
電磁界理論 (EMT) マイクロ波 (MW) 光エレクトロニクス (OPE) エレクトロニクスシミュレーション (EST) マイクロ波・ミリ波フォトニクス (MWP)	21日(木) 22日(金)	9:55~17:30 9:30~14:45	網走オホーツク・文化交流センター (エコーセンター 2000)
有機エレクトロニクス (OME)	14日(木) 15日(金)	13:15~16:10 9:00~11:45	金沢大学・角間キャンパス しいのき迎賓館
7月休会の研究会；超伝導エレクトロニクス (SCE), シリコン材料・デバイス (SDM), 集積回路 (ICD), レーザ・量子エレクトロニクス (LQE)			

◎情報・システムソサイエティ

研究会名	日時		会場
MEとバイオサイバネティクス (MBE)	30日(土)	13:00~17:15	岡山大学・医学部・保健学科 (鹿田キャンパス)
ライフインテリジェンスとオフィス情報システム (LOIS)	15日(金) 16日(土)	13:30~16:50 10:30~15:30	広島 RCC 文化センター
画像工学 (IE) (6月掲載)	1日(金)	9:30~17:00	沖縄セルラー電話
ソフトウェアサイエンス (SS) 知能ソフトウェア工学 (KBSE)	13日(水) 14日(木) 15日(金)	9:40~17:30 9:40~17:50 9:30~11:40	北海道立道民活動センター
ニューロコンピューティング (NC) 情報論的学習理論と機械学習 (IBISML)	4日(月) 5日(火) 6日(水)	13:30~17:00 9:30~18:30 10:00~15:45	沖縄科学技術大学院大学・メインキャンパス
音 声 (SP)	28日(木) 29日(金) 30日(土)	14:00~16:15 13:15~16:30 9:00~9:30	滝の湯 (山形・天童温泉)
教育工学 (ET)	9日(土)	10:00~17:55	東北学院大学・土樋キャンパス
医用画像 (MI)	25日(月) 26日(火)	13:30~17:30 10:00~15:55	苫小牧市民会館
情報通信システムセキュリティ (ICSS) マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント (EMM) 情報セキュリティ (ISEC) 技術と社会・倫理 (SITE)	14日(木) 15日(金)	13:00~17:30 9:30~16:10	中市コミュニティーホール Nac

今後の予定；パターン認識・メディア理解 (PRMU)

7月休会の研究会；言語理解とコミュニケーション (NLC), コンピュータシステム (CPSY), コンピューテーション (COMP), 人工知能と知識処理 (AI), データ工学 (DE), パターン認識・メディア理解 (PRMU), デpendableコンピューティング (DC), ソフトウェアインタプライズモデリング (SWIM), リコンフィギャラブルシステム (RECONF), クラウドネットワークロボット (CNR), サービスコンピューティング (SC)

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

研究会名	日 時		会 場
ヒューマン情報処理 (HIP) イメージ・メディア・クオリティ (IMQ)	29日(金)	10:00~16:35	札幌市立大学・芸術の森キャンパス
マルチメディア・仮想環境基礎 (MVE)	20日(水)	10:30~16:45	東京大学・山上会館 (本郷キャンパス)
福祉情報工学 (WIT)	15日(金)	13:40~17:10	山梨大学・総合情報戦略機構
	16日(土)	9:30~12:15	
7月休会の研究会；ヒューマンコミュニケーション基礎 (HCS)			

◇第二種研究会開催案内

テラヘルツ応用システム研究会	7月15日(金)	情報通信研究機構・本部
第4回集積光デバイスと応用技術研究会	8月5日(金)	NTT厚木研究開発センタ

◇第二種研究会発表募集案内

第2回コミュニケーションクオリティ(CQ)基礎講座ワークショップ	10月6日(木), 7日(金)	JA長野県ビル
----------------------------------	-----------------	---------



電子情報通信学会創立 100 周年記念



『電子情報通信学会マイルストーン』推薦の募集

本会は 1917 年に創立され、2017 年に 100 周年を迎えます。この節目を記念し、本会で議論され、我々の社会や生活、産業、科学技術の発展に大きな影響を与えた研究開発の偉業を「電子情報通信学会マイルストーン」として選定する事業を実施致します。この事業は、電子情報通信の研究開発の歴史と意義を振り返ると共に、次の 100 年に向けて更なる革新を起こす次代の研究者や技術者にその創出過程を伝えることを目的としております。つきましては、下記要領により募集しますので、奮って御推薦下さい。

記

1. 推薦者資格：どなたでも可（会員に限らない）
2. 推薦対象：
 - (1) 分野：本学会の研究領域（電子情報通信分野）に関係するもの
 - (2) 期間：1917 年以後、2016 年までに創出されたもの
 - (3) 対象：①学問・技術、②製品、③サービス、④学問・技術、製品、サービスに関する新概念の構築や提案。
3. 推薦方法：別紙の推薦用紙に必要事項を記載の上、メールに添付して、下記提出先にお送り下さい。なお、メールの表題を「電子情報通信学会マイルストーン推薦」として下さい。
4. 推薦件数：件数は、お一人様につき 3 件以内とします。
5. 推薦締切日：2016 年 8 月 31 日（水）
6. 発表の予定：2017 年 9 月
7. 留意事項：
 - (1) 推薦状況、選定に関するお問い合わせには回答致しかねます。
 - (2) 発表の際には、推薦者は公表致しません。
8. 個人情報の取り扱い：推薦に係る個人情報については、審査以外の目的で使用することはありません。
9. 提出先
 - ・一般社団法人 電子情報通信学会 総務部
 - 電子情報通信学会マイルストーン推薦受付係
 - ・E-mail：milestone@ieice.org

推薦用紙については、以下の URL にアクセスして下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/whatisnew/inf/milestonesuisen.docx>

<http://www.ieice.org/jpn/whatisnew/inf/milestonesuisen.pdf>

英語の募集要領については、下記 URL に掲載しております。

<http://www.ieice.org/eng/whatsnew/20160602e.pdf>

英語の推薦用紙については、以下の URL にアクセスして下さい。

<http://www.ieice.org/eng/whatsnew/milestonerf.docx>

<http://www.ieice.org/eng/whatsnew/milestonerf.pdf>

～．～．～．～．～．～．～．～．～．～

輝かせたい

コミュニケーションの

夢・未来

I E I C E 100 周年

～．～．～．～．～．～．～．～．～．～

◇ ◇ 電子情報通信学会創立 100 周年記念事業 ◇ ◇
——記念懸賞論文募集のお知らせ——

編集連絡会

本会は、平成 29 年 5 月 1 日に創立 100 周年を迎えます。編集連絡会では、創立 100 周年記念事業の一環として、ソサイエティごとにテーマ・内容を設定して、記念懸賞論文の募集を行います。最優秀論文並びに優秀論文は、平成 29 年 12 月号会誌（紙版、オンライン版）に掲載されます。

皆様の独創的かつ意欲的な論文をお待ちしておりますので、奮って御応募下さい。

【テーマ・内容】

●基礎・境界ソサイエティ／NOLTA ソサイエティ

「新領域の創造と新たな飛躍を目指して」

現在社会を支える重要な技術や装置の多くは、数十年前には、漫画や SF 小説における夢物語でしかありませんでした。しかし、失敗を恐れない地道な基礎研究や境界領域研究により、その夢物語は実現の足掛かりを得て、実用化されてきました。社会の今後の更なる発展を目指すためには、20 年 50 年あるいは 100 年後の電子情報通信技術において必要となる「新しい研究領域」や「新たな飛躍」などの「夢」を持つことが重要となります。今後、基礎・境界分野の研究者が取り組むべき「夢」について、自由闊達に語って下さい。

●通信ソサイエティ

「私と未来をつなぐ通信技術」

通信技術は、電話網のように通話というサービスを提供するためのインフラに始まり、今日では人と人をつなぐだけでなく、「もの」と「もの」をもつないで新たなサービスを生み出すためになくてはならない中核技術へと進化しています。通信技術の発展は我々をどのような未来へつないでくれるでしょうか。私たちを取り巻く環境、エネルギー、自然災害、社会福祉などあらゆる側面から、通信技術とそれが切り開く未来、そして私たちの生活にもたらす恩恵について、次の 100 年を展望した論文を募集致します。

●エレクトロニクスソサイエティ

「自然と調和する 100 年先の情報通信とエレクトロニクス」

本会は、人のあらゆる活動が ICT ベースのコミュニケーション基盤で支えられ、永続的な進化を遂げる社会をあるべき未来像として描いています。その中で重要なのは天然資源の保全や環境汚染の回復などを通して地球環境を守りつつ、天災・人災等の被害を最小化する、自然と調和した持続可能社会の実現です。数十年後の近未来までの実現に向けて、目下以下に示す事項の挑戦が進められていますが、これらの更に先に待っている社会の未来像と、それを支える技術を自由に描いて下さい。

- ・自然エネルギー利用発電と新エネルギー源開拓、地球規模環境観測と災害予測
- ・地球規模の自然現象シミュレーション
- ・ユビキタス地震モニタリングネットワーク
- ・地上一月間／惑星間通信など

●情報・システムソサイエティ

「人・社会・自然を豊かにする情報システムの未来展望」

情報システムの進歩により、かつてアニメや映画の世界で登場した様々な技術が実現されてきました。その一方で高度化した社会は、新たな問題に直面しているのも事実です。そこで今世紀という時間規模で、人類の繁栄、更には、人類のみならずこの地球全体の共存の実現に必要な情報システム、または、情報システムを実現する我々研究者・技術者に求められる思想・理念などについて、自由にお書き下さい。研究者・技術者（を目指している者）ならではのメッセージを期待しています。

【賞及び賞金】

各テーマ 最優秀賞 1 件（10 万円）、優秀賞 3 件（各 5 万円）

【応募資格】

国籍及び本会会員、非会員については問いません。

【応募規程】

(1) 日本語または英語で執筆して下さい。

- (2) 一人一論文とし、ソサイエティを明記して下さい。連名は不可とします。
- (3) 自作・未発表で第三者が有する著作権等の権利を侵害しないものに限り、本会著作権規程に違反していることが判明した場合には、審査結果発表後であっても、受賞の取消と賞金の返還を求めます。
本会著作権規程 <http://www.ieice.org/jpn/copyright/houshin.html>
- (4) 万が一、本記念懸賞論文の応募作品に対し、第三者から権利侵害、損害賠償等の苦情、異議申立があった場合は、電子情報通信学会は一切の責任を負わず、応募者が費用負担も含めて対処するものとします。
- (5) 最優秀論文並びに優秀論文の掲載にあたっては、会誌掲載記事としての体裁に整え、既定の用字・用語を用いて編集致します。また、編集作業に必要な本文・図表等のデータを依頼する場合がございますので、あらかじめ御了承下さい。会誌掲載前に著者校正があります。
- (6) 受賞論文の著作権は一般社団法人電子情報通信学会に帰属します。
- (7) 応募論文は返却致しません。
- (8) 各ソサイエティ宛て電子メールにてお送り下さい。なお、応募及び審査の状況、受賞に関するお問合せには回答しかねます。

【応募方法】

- (1) 執筆文字数は以下のとおりです。
 - ・和文の場合は、11,000 文字（図、表、文献、著者紹介含む）以内。
 - ・英文の場合は、3,000 words（図、表、文献、著者紹介含む）以内。原稿の1ページ目は表紙とし、タイトル、氏名（ふりがな付き）、会員種別、住所（連絡先）、電話番号、メールアドレス、学校（学部、専攻、学年）名、または、勤務先（部、課）名、及び所在地、所属学会があれば学会名を明記して下さい。
- (2) 懸賞記念論文用 WORD ファイルを参考にして作成、PDF ファイルに変換の上、添付ファイルにて送信して下さい。
- (3) メールの表題を「創立 100 周年記念懸賞論文募集（応募ソサイエティ名）」として下さい。
- (4) 他の文献からの引用箇所には、参考文献の番号を明記し、本文の巻末に参考文献の一覧表を付記して下さい。

【個人情報の取扱い】

- (1) 論文募集に係る個人情報については、論文の審査、発表、表彰、応募状況の集計、公表（会誌、ホームページ等での掲載）以外の目的で使用することはありません。
- (2) 発表の際には、受賞者の氏名を公表致します。

【応募受付開始】

平成 28 年 8 月 1 日

【応募締切】

平成 28 年 12 月末日

【問合せ・応募宛先】

基礎・境界ソサイエティ／NOLTA ソサイエティ memorialpaper_a@ieice.org
通信ソサイエティ memorialpaper_b@ieice.org
エレクトロニクスソサイエティ memorialpaper_c@ieice.org
情報・システムソサイエティ memorialpaper_d@ieice.org

【審査決定】

論文の選考は、各ソサイエティ記念論文選考委員会が候補論文の審査を行った上で、編集連絡会において決定致します。

以上

～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～

電子情報通信学会は 2017 年に
創立 100 周年を迎えます。

～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～ ・ ～

◇ ◇ CEATEC JAPAN 2016 との連携企画開催のお知らせ ◇ ◇

産業界における学会価値の向上を目的に、企業に所属する技術者が多数参加する CEATEC JAPAN 2016 と昨年に引き続き連携することになりました。CEATEC JAPAN 2016 は、電子情報通信系最大規模の展示会です。CEATEC JAPAN 2016 と連携することで、電子情報通信分野で活躍する企業技術者に本会活動を広く知って頂くことができます。更に、CEATEC JAPAN 2016 展示会に参加した技術者が研究会に参加する、あるいは、研究会に参加した研究者が CEATEC JAPAN 2016 展示会に参加するといった相互交流が期待でき、電子情報通信分野の活性化につながる活動であると考えています。

今回は特別シンポジウムとして、「次世代交通・運輸システムを実現する電子情報通信技術」及び東京支部主催シンポジウム「IoT 普及への課題と期待～ビジネス化・普及に向けた通信の越えるべきハードル～」並びに下記4件の研究会を計画しています。会員の皆様には、是非御参加下さいませよう、御案内致します。

なお、今年度の CEATEC のテーマは、企業や人の共創を鼓舞し、未来の道標として「つながる社会、共創する未来」です。

【開催日】 2016年10月5日(水)～6日(木)

【会場】 幕張メッセ 国際会議場(千葉市)

会場(国際会議場)までのアクセスは、<http://www.m-messe.co.jp/access/index.html> を御参照下さい。

【参加費】 それぞれの企画に表示

【申込方法】 当日会場に直接お越し下さい。なお、CEATEC JAPAN 2016 展示会に参加される方は、CEATEC JAPAN 2016 ホームページ (www.ceatec.com) から入場事前登録をお願い致します。(8月初旬掲載予定)

本学会が主催する内容は次の通りです。

I 一般社団法人電子情報通信学会 特別シンポジウム (参加費無料)

【開催日】 10月5日(水) 10:00～13:00

【会場】 国際会議場 2F コンベンションホール A

【テーマ】 次世代交通・運輸システムを実現する電子情報通信技術

④電子ディスプレイ研専(EID)(参加費無料)

【開催日】 10月6日(木) 13:00～17:00

【会場】 国際会議場 1F 105号室

【テーマ】 電子ディスプレイシンポジウム—人間と情報のインターフェイス—

II 一般社団法人電子情報通信学会 東京支部主催シンポジウム (参加費無料)

【開催日】 10月6日(木) 14:00～17:00

【会場】 国際会議場 1F 103号室

【テーマ】 IoT 普及への課題と期待—ビジネス化・普及に向けた通信の越えるべきハードル—

III 一般社団法人電子情報通信学会 研究専門委員会企画行事

①人工知能と知識処理研専(AI)

(参加費無料(ただし予稿集有料の場合あり))

【開催日】 10月5日(水) 13:00～17:00

【会場】 国際会議場 1F 103号室

【テーマ】 社会的問題解決のための AI・エージェント技術

②ICT スマートグリッド技術時限研専(ICTSG)

(参加費無料(ただし予稿集有料の場合あり))

【開催日】 10月6日(木) 10:00～13:00

【会場】 国際会議場 1F 103号室

【テーマ】 IoT により実現されるスマート社会基盤(仮)

③コンピュータシステム研専(CPSY)

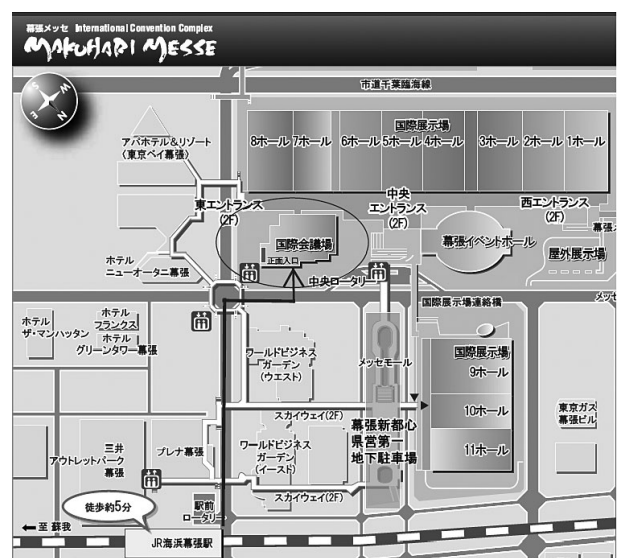
(参加費無料(ただし予稿集有料の場合あり))

【開催日】 10月6日(木) 9:00～17:00 開催予定

【会場】 国際会議場 1F 104号室

【テーマ】 萌芽のコンピュータシステム研究展示会

【国際会議場までのアクセス方法】



※ CEATEC JAPAN (Combined Exhibition of Advanced Technologies) の詳細は、www.ceatec.com を御覧下さい。

●…………… 求 人 欄 ……………●

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後、事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後、数日たっても受領の連絡がない場合は、事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合先：電子情報通信学会編集出版部

TEL [03] 3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

——教官・教員募集——

●福井大学

公募人員 工学系部門情報・メディア工学分野 教授 1名

専門分野 映像メディア工学に関連する分野

応募資格 博士の学位を有すること

IoT 関連分野でのハードウェア及びソフトウェア両面に関する実践的な教育、研究を主導できることなど

応募締切 平成 28 年 8 月 1 日 (月) 必着

問合先 情報・メディア工学分野分野長 山田徳史

TEL [0776] 27-8909, yamada@u-fukui.ac.jp

詳細 http://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/recruit/

●福井大学

公募人員 工学系部門情報・メディア工学分野 講師 1名

専門分野 IoT 関連分野 (ハードウェア系またはソフトウェア系)

応募資格 博士の学位取得後 5 年以内

応募締切 平成 28 年 8 月 31 日 (水) (必着)

問合先 情報・メディア工学分野分野長 山田徳史

TEL [0776] 27-8909, yamada@u-fukui.ac.jp

詳細 http://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/recruit/

●福井大学

公募人員 工学系部門情報・メディア工学分野 講師または助教 1名

専門分野 IoT 関連分野 (ハードウェア系またはソフトウェア系)

応募資格 講師は博士の学位取得後 5 年以内、助教は取得後 3 年以内または平成 29 年 3 月末までに取得見込みのこと

応募締切 平成 28 年 8 月 31 日 (水) (必着)

問合先 情報・メディア工学分野分野長 山田徳史

TEL [0776] 27-8909, yamada@u-fukui.ac.jp

詳細 http://www.u-fukui.ac.jp/cont_about/recruit/

●湘南工科大学

公募人員 工学部情報工学科 教授・准教授または講師 2名

専門分野 ①組込みシステム及びハードウェア設計技術

②情報処理技術に関連する分野

着任時期 平成 29 年 4 月 1 日

応募締切 平成 28 年 8 月 10 日 (水) 当日消印有効

問合先 情報工学科長 二宮 洋

TEL [0466] 30-0218, ninomiya@info.shonan-it.ac.jp

詳細 <http://www.shonan-it.ac.jp/contents/outline/recruitment/teacher/index.html>

●大阪大学

公募人員 教授 1名

専門分野 原子・分子・光物理学, レーザ冷却, 量子光学, 量子シミュレーション, 量子情報処理などを含む広義の量子エレクトロニクス分野

応募締切 平成 28 年 8 月 15 日 (月) 必着

問合先 〒560-8531 豊中市待兼山町 1-3

大阪大学大学院基礎工学研究科システム創成専攻電子光科学領域 教授 北川勝浩

TEL [06] 6850-6320, qeprof@ee.es.osaka-u.ac.jp

詳細 <http://www.es.osaka-u.ac.jp/ja/offering/recruitment/>参照

●富山県立大学

公募人員 工学部電子・情報工学科

教授, 准教授または講師 3名 (下記①~③各 1名) 講師または助教 1名 (下記④)

専門分野 ①パワーエレクトロニクス工学分野, ②制御工学分野, ③ビッグデータ分析技術分野, ④生体情報工学分野

着任時期 平成 29 年 4 月 1 日

応募締切 平成 28 年 8 月 19 日 (金) 必着

問合先 情報システム工学科主任教授 鳥山朋二

TEL [0766] 56-7500, toriyama@pu-toyama.ac.jp

詳細 <http://www.pu-toyama.ac.jp/>を参照

●福岡工業大学

公募人員 教授, 准教授または助教 1名

所 属 工学部電気工学科

専門分野 半導体・物性・デバイスの次世代技術への応用などに関する分野

応募資格 博士の学位または取得見込み

着任時期 平成 29 年 4 月 1 日

応募締切 平成 28 年 9 月 9 日 (金) 必着

詳細 <http://www.fit.ac.jp/daigaku/koubo/index> を参照下さい

●神奈川大学

公募人員 准教授 1名

所 属 工学部電気電子情報工学科

専門分野 電気電子計測工学分野 (音響エレクトロニクス, 環境計測, 生体計測)

着任時期 平成 29 年 4 月 1 日

応募締切 平成 28 年 9 月 30 日 (金) 必着

問合先 工学部電気電子情報工学科主任 山口栄雄

TEL [045] 481-5661 (内線 3759)

yamags18@kanagawa-u.ac.jp

詳細 <http://www.kanagawa-u.ac.jp/employment/professor/fulltime/>

●神奈川大学

公募人員 特別助教 (任期制) 1名

所 属 工学部電気電子情報工学科

専門分野 超伝導デバイス, 量子効果デバイス

着任時期 平成 29 年 4 月 1 日

応募締切 平成 28 年 9 月 30 日 (金) 必着

問合先 工学部電気電子情報工学科主任 山口栄雄

TEL [045] 481-5661 (内線 3759)

yamags18@kanagawa-u.ac.jp

詳細 <http://www.kanagawa-u.ac.jp/employment/professor/fulltime/>

●神奈川大学

公募人員 特別助教（任期制）1名
 所 属 工学部電気電子情報工学科
 専門分野 電子回路工学（アナログ集積回路，集積回路，センサ等）
 着任時期 平成29年4月1日
 応募締切 平成28年9月30日（金）必着
 問 合 先 工学部電気電子情報工学科主任 山口栄雄
 TEL [045] 481-5661（内線3759）
 yamags18@kanagawa-u.ac.jp
 詳 細 <http://www.kanagawa-u.ac.jp/employment/professor/fulltime/>

●豊橋技術科学大学

公募人員 情報・知能工学系 助教1名
 専門分野 ロボット情報学に関連する分野，社会的ロボティクス，ヒューマン・ロボットインタラクション，インタラクションの認知科学など
 任 期 5年（再任は審査により1回限り3年最長8年まで）
 着任時期 平成29年4月1日
 応募締切 平成28年9月30日（金）必着
 問 合 先 情報・知能工学系教授 岡田美智男，okada@tut.jp
 詳 細 JREC-IN，及び下記URLへアクセスして下さい
<http://www.tut.ac.jp/about/kyoin-koubo.html>

●千歳科学技術大学

募集人員 情報システム工学科 講師，准教授または教授1名
 専門分野 情報機器・センサネットワーク，学部におけるそれらの講義系科目，プログラミングや電気電子回路実習，プロジェクト教育・卒業研究等で実践的なシステム開発・設計に関する指導など担当頂きます
 応募資格 原則として，博士の学位を有する方（実務経験重視）
 着任時期 平成29年4月1日またはできるだけ早い時期
 応募締切 平成28年10月31日（月）当日消印有効
 問 合 先 TEL [0123] 27-6001，kikakusoumu@photon.chitose.ac.jp
 詳 細 <http://www.chitose.ac.jp/info/recruit.html>を参照

●長岡技術科学大学

公募人員 助教1名（常勤，月給制と年棒制のどちらか選択可）
 所 属 電気電子情報工学専攻電子デバイス・フォトニクス工学講座
 専門分野 電子材料，デバイスプロセス，計測分析，センシング，ナノマイクロシステム等，広い意味での電子デバイス
 応募資格 博士の学位を有するか着任までに取得可能な方
 着任時期 平成29年1月1日～4月1日までの着任可能な時期
 応募締切 平成28年10月31日（月）必着
 問 合 先 専攻長 和田安弘，TEL [0258] 47-9534
<http://kawai.nagaokaut.ac.jp>

◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧下さい。

URL：<http://www.ieice.org/jpn/books/ad/kyokanshainboshu.html>

◎次回締切 9月号掲載分 平成28年7月25日（月）必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページに掲載しております。下記からお入り頂くと今月号だけではなく，締切前の求人が全て御覧になれます。

URL：<http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanboshu.html>

●…………… お 知 ら せ ……………●

——会誌 電子配信トライアル募集中——
——更に使いやすくなりました！——

このたびアプリの機能追加・改良を行い，更に使いやすくなりました！

この機会に是非トライアルに御参加下さい！

会誌編集委員会では，現在，会員への更なるサービス向上を目指してスマートホンなどへの会誌のプッシュ型配信サービスの500名限定のトライアルを実施中です。

会員の方が，iPhone，iPad等をお持ちの場合（アンドロイド端末については今後対応する予定です），簡単に毎月1日に電子配信を受けられるとともに，最新のe-pub版で構築された過去のバックナンバーやお気に入り本棚等のサービスも利用可能です。

●インストール方法：

iTunesストアから電子情報通信学会ieice会誌をダウンロードすることから始まります。

下記またはQRコードからインストールできます。

iOS端末のAppStoreから“IEICE”で検索してインストールできます。



<https://itunes.apple.com/jp/app/id957695896>

また，これに伴い，会誌モバイルサイトの内容を改訂しました。

<http://app.journal.ieice.org/>

iOSアプリのサポートページは下記に用意しました。

<http://app.journal.ieice.org/ios/support.html>

会員の場合は全ての記事を見ることができます。

●ログインするには，会員番号とパスワードを入力します。

なお，トライアル中は，バグ情報，アップデート情報，アンケート等をお送りすることがあります。お手数ですが，アクセスされましたら下記宛て御連絡下さい。

連絡先：会誌出版課 kaishi_trial@ieice.org

御協力をお願い致します。

—平成 28 年 7 月号及び 8 月号
和・英論文誌特集・小特集テーマ—
和・英論文誌編集委員会

- (基礎・境界ソサイエティ)
7月号 [英文] Design Methodologies for System on a Chip
8月号 [和文] 回路とシステム
8月号 [英文] Information and Communication Systems for Safe and Secure Life
(通信ソサイエティ)
7月号 [和文] 若手研究者のための創造的論文
8月号 [英文] Advanced Information and Communication Technologies and Services in Conjunction with Main Topics of APCC2015
(エレクトロニクスソサイエティ)
7月号 [英文] Recent Advances in Simulation Techniques and Their Applications for Electronics
8月号 [英文] Low-Power and High-Speed Chips
(情報・システムソサイエティ)
8月号 [和文] 画像の認識・理解
8月号 [英文] Security, Privacy and Anonymity of Internet of Things

●…………… 支 部 大 会 ……………●

- 平成 28 年度信越支部大会
期 日 平成 28 年 10 月 8 日 (土)
会 場 長岡技術科学大学 (長岡市)
URL <http://www.ieice.org/shinetsu/>
- 平成 28 年度電気関係学会北陸支部連合大会
期 日 平成 28 年 9 月 13 日 (火), 14 日 (水)
会 場 福井工業大学福井キャンパス (福井市)
URL <http://2016.jhes.jp/>
- 平成 28 年度 (第 67 回) 電気・情報関連学会中国支部連合大会
期 日 平成 28 年 10 月 22 日 (土)
会 場 広島大学東広島キャンパス (東広島市)
URL <http://rentai-chugoku.org/>

●…… 講演会・講習会・学術研究集会等 ……●

- ◇関西支部
- 中・高生向け講演会フィジカルコンピューティング—体感できるプログラミング—
期 日 平成 28 年 7 月 26 日 (火), 28 日 (木)
会 場 神戸市立工業高等専門学校 (神戸市)
URL <http://www.kobe-kosen.ac.jp>
 - IEICE 関西支部 ICT 基礎講座「画像処理講座」
期 日 平成 28 年 8 月 25 日 (木), 26 日 (金)
会 場 中央電気倶楽部 316 号室 (大阪市)
URL <http://www.ieice.org/kansai/ict/>

総合版ハンドブック
「知識ベース」の一般公開について

総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開を開始しております。一般公開は、会員限定β版での公開後2か月を経過した一部のコンテンツが対象となります。

閲覧にあたっては、本会ホームページ(トップページ)→「総合版ハンドブック「知識ベース」」または、以下の URL からお入りください。

<http://www.ieice-hbkb.org/portal/>

